

特殊詐欺の発生状況（平成29年7月末） ～前月に続き被害は増加傾向～

1 県内の特殊詐欺の認知状況（7月末現在）

- 被害認知件数は**64件**（前年同期比+4件）
- 被害総額は**約1億2,864万円**（前年同期比+約4,316万円）
- 被害者の**約58%**が65歳以上の高齢者

2 7月中の認知状況

- 被害認知件数は**9件**（前年同月比+1件）
- 被害額は**約1,335万円**（前年同月比+約687万円）
- 手口は
 - ◎振り込め詐欺 7件
 - ・架空請求詐欺（有料サイト利用料金名目） 3件
 - ・架空請求詐欺（その他の名目） 4件
 - ◎振り込め詐欺以外の特殊詐欺 2件
 - ・ギャンブル必勝情報提供名目 2件

3 県内の特殊詐欺の傾向（7月中）

○ **架空請求詐欺が連続発生。**

7月中は、これまで被害が多発していた、オレオレ詐欺や還付金等詐欺の発生はなかったものの、架空請求詐欺が連続して発生しました。

架空請求詐欺で犯人から届くメールやSMSは、「訴訟を起こす」、「財産を差し押さえる」といった言葉が記載されているものの、具体的な内容は書かれておらず、不安に感じた受信者から連絡させようとするのが狙いです。

身に覚えのない請求等がメールやSMSで届いたときは、電話を架ける前に、その連絡先をインターネットで検索して、詐欺等に使われている連絡先かどうか調べるだけでも、架空請求詐欺の被害防止につながります。

～被害者の年齢・性別構成～

	平成29年7月末現在		
	男性	女性	計
～ 19	-	-	-
20 ～ 29	1	2	3
30 ～ 39	3	3	6
40 ～ 49	4	1	5
50 ～ 59	3	5	8
60 ～ 64	4	1	5
65 ～ 69	1	6	7
70 ～ 79	4	19	23
80 ～ 89	1	6	7
90 ～	-	-	-
合計	21	43	64
内65歳以上の高齢者	6	31	37

～特殊詐欺全体の被害金交付形態～

	平成29年7月末現在 件数
振込型 (犯人が指定する口座に振り込ませる)	40
現金手交型 (犯人が直接現金を受け取る)	2
現金送付型 (郵便や宅配便などで現金を送らせる)	5
電子マネー型	14
キャッシュカード受取型	3
合計	64